

船舶事故等調査報告書

平成24年1月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011広第123号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成23年6月21日 15時45分ごろ	
発生場所	広島県広島市広島港五日市岸壁付近 (概位 北緯34°20.5′ 東経132°21.9′)	
事故等調査の経過	平成23年7月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 自動車運搬船 第二とよふじ丸、12,801トン 140781、トヨフジ海運株式会社</p> <p>B 引船 新興丸、201トン 131740、新興海事有限会社</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長A、不詳</p> <p>B 船長B、四級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 右舷船尾に擦過傷</p> <p>B 左舷ハンドレールが曲損</p>	
事故等の経過	A船は、広島港五日市岸壁に左舷着けの着岸作業中、B船が、A船の右舷船尾からえい航索をとり、A船の着岸支援作業を行っていた際、A船が増速して左転しながら前進し、船長Bが、A船から増速する旨の無線連絡を受け、ウインチを操作していた機関長及び甲板員にえい航索を緩めるよう指示したものの、伝達がうまくいかず、ウインチの操作が遅れてえい航索が張り、B船がA船の右舷船尾に引き込まれ、平成23年6月21日15時45分ごろA船とB船とが衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 南南西、風力 1</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の中央期</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>B船は、広島港五日市岸壁に着岸するA船の着岸支援作業中、船長Bが、A船から増速する旨の無線連絡を受けた際、ウインチを操作していた機関長及び甲板員へのえい航索を緩めるようにとの指示の伝達を円滑に行うことができなかったことから、ウインチの操作が遅れてえい航索が張り、A船の右舷船尾に引き込まれ、A船と衝突したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、B船が、広島港五日市岸壁に着岸するA船の着岸支援作業中、船長Bが、A船から増速する旨の無線連絡を受けた際、ウインチを操作していた機関長及び甲板員へのえい航索を緩めるようにとの指示の伝達を円滑に行うことができなかったため、ウインチの操作が遅れてえい航索	

	が張り、A船の右舷船尾に引き込まれ、A船と衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	本事故後、B船は、船橋内から遠隔操作によりえい航索の伸出ができるように改良された。